

## 事業計画書

### ◎実施内容

事業名	Weekend ENGLISH SUPPORT in Numazu
実施場所	沼津駅周辺
実施予定期間	平成30年4月2日～平成31年3月29日

日 程	実施項目・作業項目
<b>実施内容：</b>	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>暁秀高校バイリンガルコースに通う英語に自信のある高校生が、沼津市内の中高生を対象に、気軽に英語を学ぶ機会を提供する。 同年代の高校生が講師役になることで、参加者は学ぶというよりもサークル活動のように楽しく英語に親しみ、英語力をつけながら仲間を増やすことができる。</p> <p>授業の内容としては主に、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発音 (phonixからやる。正しい発音を身につけてもらう。日本人特有のアクセントをなくす)</li> <li>2. 文法 (subject-verb agreement:主語と動詞の対応, articles:冠詞, 等)</li> <li>3. 文章を書く (架空の外国人の友達に英語で手紙/メールを書いてみよう、将来働いた時に使える英語のスキル、短い小論文を書く練習、等)</li> <li>4. 読解・読書 (英語の文章に触れる。スタッフがオススメの英書などを紹介する)</li> <li>5. コミュニケーション (日常で使われる英会話などにも慣れてもらう)</li> </ol> <p>毎回授業の最後に来週の授業では何をするかを知らせることで、生徒たちも来週の授業に参加するか決めることができる。一番最初の授業はカリキュラムの説明に当てる。</p>
<b>スケジュール：</b>	<p>4月 告知・募集開始 チラシ・ポスターを作成・印刷し、市内の中学校・高校に配布 公式ウェブサイトの作成と公開、参加者募集</p> <p>4月末 スタッフと知り合いの中高生を集めて、模擬レッスンを開催</p> <p>5月～7月 レッスン (6回)</p> <p>7月末 スタッフが集まって前半半年の反省、改善点、後半の半年のスケジュール決め等を行う</p> <p>夏休み</p> <p>9月頭 スタッフが集まって残り半年の目標を立てる</p> <p>9月～12月頭 レッスン (7回)</p> <p>11月 来年度の後継者募集</p> <p>冬休み スタッフが集まって夏休み後からの反省、改善点、後半の半年のスケジュール決め等を行う</p> <p>1月～3月 レッスン (6回)</p> <p>3月末 お疲れ様会 後継者に事業を受け継いでもらう準備をする。後継者のために模擬レッスンを開催</p>
<b>実施場所：</b>	<p>駅から徒歩10分程の会場。 候補としては新仲見世商店街テレビのイマイ 2F、沼津商工会議所、プラサ ヴェルデ、第一・第五地区センター等。</p>

参加対象：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語が好き</li> <li>・英語を学びたい</li> <li>・実際に英語を使ってみたい</li> <li>・英語力を伸ばしたい</li> <li>・英語を通じて沼津市中に同年代の友達を増やしたい。</li> </ul> <p>という願望があって学ぶ意欲のある中高生。</p>
日時：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2第4土曜日の午後（90分）（講師は合計120分）</li> <li>・授業時間は60分</li> <li>・授業が始まる30分前に講師は授業の準備で入る （インターネットでプリント探しや資料のコピーなど）</li> <li>・毎回授業後に30分間のRefreshment Time（*）を設ける。</li> </ul>
参加者募集方法：	<p>ホームページ上で申し込みフォームを2018年の2月から公開して基本情報（名前、性別、メールアドレス、電話番号等）を入力して送信してもらう。それが完了したら一年中自分が来れる時に来ることができる。</p> <p>（*）Refreshment Time: 英語のフリートークセッションで、お菓子などを用意し、英語で自由に会話を楽しむ。生徒は参加自由。最初のうちは生徒も講師も緊張していると思われるので話題を講師の方から挙げる予定。Current Events（一人ずつ最近のニュースを英語に2分程度にまとめて皆に紹介する。エンターテインメント、政治、現地ニュース、自分のことなど、なんでもいい。そこから話を広げる。）講師はこの際、キーワードをピックアップして教室のホワイトボードに書いて皆で後で意味を確認する。よりネイティブの会話に近い英語（slang:ネイティブ同士で使われる略された英語のこと や idiom:慣用語などを使った英会話）に触れてもらうことが目的。</p>

### ◎事業効果

<p>※事業の効果を記載して下さい。 ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業効果に対して、客観的な評価ができるよう、成果指標と数値目標を設定するなど、その検証方法を必ず明記して下さい。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・沼津の中高生の英語力が向上する</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>沼津から今までより多くのグローバル人材が排出される</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>沼津に恩を感じ、地元、沼津に戻ってくる若者が増える （戻ってこなかったとしても何かしらの恩返しをしてくれるかも？例：貧困層の子供への寄付）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沼津の中高生に地域との密着性を持ってもらう（ローカルコミュニティ）</li> </ul>	

### ◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを確認して下さい。

<p style="text-align: center;"><b>公益性</b></p>	<p>※不特定多数の住民の利益の増進、地域のまちづくりの推進に寄与する事項等を記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生が社会参加することで、地域を意識し、地域とつながるきっかけとなる。</li> <li>・また、「言語教育特区」に認定され、「言葉を用いて積極的に人と関わっていかうとする態度の育成」を目標としている沼津市の教育方針にも合致している。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>発展性</b></p>	<p>※活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営は、暁秀高校生の下級生に毎年引き継ぎ、OBがサポートしていく仕組みをつくっていく。</li> <li>・また、参加者もスタッフ等として継続的に関わられるようにしていきたい。</li> <li>・これによって、参加するメンバーが増えるに連れてEサポを通してできるネットワークが広がる。</li> <li>・Eサポ側も、回を重ねていくことで参加者がEサポに求めていることをフィードバックすることができ、よりいいものにすることができる。</li> </ul>

<p>地域性</p>	<p>※地域の実情・課題の解決に向け工夫した点、地域資源の活用などについて記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沼津にいる中高生が「英語を上手に話せるようになりたい！」と思った時に気軽に参加できるような機会を提供したいと思った。</li> <li>・ 沼津市の人口は毎年減少している。そこで、より多くの若者に留まってもらう、もしくは大学で専門知識を学んで帰ってきてもらうために「仮」を作った。それはこの機会を市と地元企業からのサポートの元「無料」で提供するというので、参加者に地元にありがたみを感じさせて大人になったときに沼津市に貢献してくれると考えた。</li> <li>・ 沼津の中高生の中に、英語を通じて学校以外のつながり（ローカルコミュニティ）ができ、地域に対する愛着を持ってもらうことによっても、若者が沼津に留まる効果があると思う。</li> </ul>
<p>必要性</p>	<p>※事業を実施する意義や、補助金の交付が有益で質の高い事業展開につながる理由について記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グローバル化が進み、これから社会に出て行く若者はどんどん英語に触れる機会が増えることが考えられる。</li> <li>・ しかし学校や塾の英語の先生にはネイティブな英語を喋ることができる人たちは少ないし、教えられること、教え方に限界がある。</li> <li>・ そのような状況の中でネイティブな英語に楽しく触れられる機会を提供することは中高生にとっても将来使えるスキルとして残る。</li> <li>・ よって、この世の中から英語の需要がなくなる限りこのサービスはこれから社会に出る学生にとって必要である。</li> </ul>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、工夫した点について記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この事業の新規性や独自性は、高校生がほぼ同年代の人たちに何かを自分たちで教えるというところにある。</li> <li>・ 立場が平等という設定を利用することで参加者は楽しく、無理なく英語を学ぶことができる。</li> </ul>
<p>継続性</p>	<p>※助成事業終了後も継続的・自立的な活動とするために、どのように取り組んでいくかについて記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ このサービスは主に暁秀高校のバイリンガルコースに通う生徒の間で代々受け継がせていこうと思う。</li> <li>・ 暁秀高校のバイリンガルの生徒は地元貢献的で、自分たちの「英語」という強みを生かしたボランティアなどをよくやる。</li> <li>・ 自分たちが積み上げてきた知識と経験を他の沼津の中高生と共有できることに喜びを感じるだろう。</li> <li>・ 毎年11月くらいに暁秀高校のバイリンガル内で次年度のスタッフを募集し、4月に参加者となる新中1高1を募集していこうと思う。</li> <li>・ また、参加者についてもスタッフとして継続的に関わってもらおうなどして、ローカルコミュニティを育てていきたい。</li> </ul>

◎特に高い公益性を有することの説明

<p>※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。</p>
---